

議第71号

令和2年度三島市下水道事業会計補正予算案

(第 1 号)

令和2年度三島市下水道事業会計補正予算案(第1号)

第1条 令和2年度三島市下水道事業会計の補正予算案(第1号)は、次に定めるところによる。

第2条 令和2年度三島市下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第2条に定めた業務の予定量を、次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(4) 主要な建設改良事業			
管路施設工事費	712,209千円	△34,572千円	677,637千円
処理場施設工事費	119,468千円	△22,400千円	97,068千円

第3条 予算第4条本文括弧中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額691,104千円」を、「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額693,753千円」に、「過年度分損益勘定留保資金81,451千円」を、「過年度分損益勘定留保資金82,276千円」に、「当年度分損益勘定留保資金558,168千円」を、「当年度分損益勘定留保資金559,992千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入			
第1款 資本的収入	1,569,106千円	△59,621千円	1,509,485千円
第1項 企業債	1,205,200千円	△37,800千円	1,167,400千円
第3項 国庫支出金	164,650千円	△21,821千円	142,829千円
支 出			
第1款 資本的支出	2,260,210千円	△56,972千円	2,203,238千円
第1項 建設改良費	897,584千円	△56,972千円	840,612千円

第4条 予算第6条に定めた企業債の限度額「1,205,200千円」を「1,167,400千円」に改める。

令和2年9月8日提出

三島市長 豊岡 武士

令和2年度三島市下水道事業会計補正予算実施計画(第1号)

資本的收入

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本的收入		1,569,106	△59,621	1,509,485	
	1	企業債	1,205,200	△37,800	1,167,400	
		1 企業債	1,205,200	△37,800	1,167,400	
	3	国庫支出金	164,650	△21,821	142,829	
		1 国庫補助金	164,650	△21,821	142,829	

資本の支出

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本の支出		2,260,210	△56,972	2,203,238	
	1	建設改良費	897,584	△56,972	840,612	
		1 管路施設工事費(単独)	176,463	△14,000	162,463	
		2 管路施設工事費(流域)	216,432	△20,572	195,860	
		5 処理場施設工事費	119,468	△22,400	97,068	

令和2年度三島市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書(第1号)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△純損失)	409,000
減価償却費	1,124,429,000
固定資産除却費	4,988,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△133,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	681,000
長期前受金戻入額	△499,548,000
受取利息及び受取配当金	△1,000
支払利息	265,073,000
未収金の増減額(△は増加)	5,560,000
未払金の増減額(△は減少)	△93,587,000
小計	807,871,000
利息及び配当金の受取額	1,000
利息の支払額	△265,073,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	542,799,000
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△817,495,000
有形固定資産の売却による収入	1,000
無形固定資産の取得による支出	△27,277,000
工事負担金等による収入	153,804,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690,967,000
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,227,100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△1,362,626,000
出資金の受入	185,800,000
リース債務の返済による支出	△436,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,838,000
資金増加額(又は減少額)	△98,330,000
資金期首残高	153,119,677
資金期末残高	54,789,677

令和2年度三島市下水道事業予定貸借対照表(第1号)

令和3年3月31日

資 産 の 部

(単位:円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		1,032,617,975	
イ 建物	788,277,056		
減価償却累計額	<u>△86,229,004</u>	702,048,052	
ウ 構築物	28,377,039,858		
減価償却累計額	<u>△2,307,637,988</u>	26,069,401,870	
エ 機械及び装置	3,125,562,252		
減価償却累計額	<u>△674,605,220</u>	2,450,957,032	
オ 車両運搬具	77,226		
減価償却累計額	<u>△42,222</u>	35,004	
カ 工具器具及び備品	12,308,837		
減価償却累計額	<u>△4,745,404</u>	7,563,433	
キ リース資産	2,200,000		
減価償却累計額	<u>△329,000</u>	1,871,000	
ク 建設仮勘定		<u>86,932,347</u>	
有形固定資産合計			30,351,426,713

(2) 無形固定資産

ア 施設利用権		<u>2,418,017,976</u>	
無形固定資産合計			<u>2,418,017,976</u>
固定資産合計			32,769,444,689

2 流動資産

(1) 現金預金			54,789,677
(2) 未収金			
ア 営業未収金	141,238,440		
イ 営業外未収金	25,728,329		
ウ その他未収金	2,026,210		
貸倒引当金	<u>△2,998,120</u>	165,994,859	
(3) その他流動資産			<u>20,000</u>
流動資産合計			<u>220,804,536</u>

資産合計

32,990,249,225

負債の部

		(単位:円)
3 固定負債		
(1) 企業債		
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>16,105,587,104</u>	
企業債合計		16,105,587,104
(2) リース債務		
固定負債合計		<u>1,374,888</u>
		16,106,961,992
4 流動負債		
(1) 企業債		
ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>1,376,247,934</u>	
企業債合計		1,376,247,934
(2) 未払金		
ア 営業未払金	45,724,134	
イ 営業外未払金	3,419	
ウ その他未払金	<u>86,714,677</u>	
未払金合計		132,442,230
(3) リース債務		
		442,516
(4) 引当金		
ア 賞与引当金	<u>12,119,000</u>	
引当金合計		12,119,000
(5) その他流動負債		
流動負債合計		<u>1,252,000</u>
		1,522,503,680
5 繰延収益		
(1) 長期前受金		
ア 受贈財産評価額	1,926,188,416	
収益化累計額	<u>△211,394,174</u>	1,714,794,242
イ 国庫補助金	9,676,984,514	
収益化累計額	<u>△938,541,312</u>	8,738,443,202
ウ 受益者分担金	128,973,790	
収益化累計額	<u>△7,157,006</u>	121,816,784
エ 受益者負担金	705,379,431	
収益化累計額	<u>△56,689,675</u>	648,689,756
オ 他会計補助金	2,712,692,037	
収益化累計額	<u>△260,573,854</u>	2,452,118,183
長期前受金合計		<u>13,675,862,167</u>
繰延収益合計		13,675,862,167
負債合計		<u>31,305,327,839</u>

資 本 の 部

6 資 本 金			(単位:円)
(1) 資本金			
ア 固有資本金		624,013,291	
イ 繰入資本金		<u>499,200,000</u>	
資本金合計			1,123,213,291
7 剰 余 金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	425,088,030		
イ 国庫補助金	124,103,104		
ウ 他会計補助金	<u>3,644,200</u>		
資本剰余金合計		552,835,334	
(2) 利益剰余金			
ア 当年度未処分利益剰余金	<u>8,872,761</u>		
利益剰余金合計		<u>8,872,761</u>	
剰余金合計			<u>561,708,095</u>
資本合計			<u>1,684,921,386</u>
負債資本合計			<u><u>32,990,249,225</u></u>

注記

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法		
・主な耐用年数			
建物	15～50年	構築物	10～50年
機械及び装置	10～20年	車両運搬具	4年
工具器具及び備品	5年		

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法	定額法
・主な耐用年数	
施設利用権	45年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全額を負担することとなっているため、計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る一般会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、1,978,876千円である。

2 引当金の取崩し（賞与引当金の取崩し）

令和2年6月に、令和元12月から令和2年3月分の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出をすることになるため、賞与引当金11,376千円を取り崩す。